



シリーズ
タンチョウ
Vol. 370

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

櫻井真弓

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



足に番号が付いているタンチョウのお話

給餌場にタンチョウが集まる季節になりました。たくさん集まっているタンチョウの中に、足の関節部分に番号の入ったリングが付いている個体がいることを知っていますか？

このリングは、生まれた年に捕まえて装着するので、リングのついているタンチョウは、その番号で生まれた年が分かります。リングをつける時には採血もして性別も調べます。そして、飛べない時期にリングを装着するので、装着した場所が出生地となります。



リングは右足の関節部分についています

サンクチュアリでは、飛来するタンチョウの標識番号を記録しています。つがいになったタンチョウの多くは、毎年同じ給餌場を利用して越冬するようです。私たちレンジャーは、毎年飛来する標識タンチョウのことを「常連さん」と呼んで再会を楽しみにしています。ですが今年は新年を迎えても、広報つるいでも紹介したことがある「20P」や「025」という、サンクチュアリ常連さんが飛来していません。

今シーズンは常連の標識タンチョウだけでなく、サンクチュアリでは標識の記録が少ないです。そんな中で毎日飛来してくれるのが、2018年、弟子屈町生まれのメスのタンチョウ「334」です。もう、つがいになっているので、2羽で仲良く行動している様子が観察できます。給餌の後に、柵の近くで張り切ってダンスを舞っていましたし、割と目立ちたがり屋なのかもしれません。来年は子どもを連れてサンクチュアリに飛来して、新しい常連ファミリーになって欲しいと思っています。



仲良く羽繕いする334つがい（左が334）

鶴見台では「429」を見つけました。

「429」は2020年に道北の豊富町で生まれたオスです。2022年には発信機が装着されて、その発信機の記録から、2023年1月にオホーツク海側の興部町から、高度1,700mで大雪山の東の端を飛び越えて、たった1日で十勝まで移動したことが分かりました。その時の発信機は今ではもう機能していませんが、タンチョウの飛翔能力の高さを教えてくれた「429」は私の推しです。今年も鶴居で越冬してくれていることが嬉しいです。

サンクチュアリには標識タンチョウのプロフィールがありますので、もし標識のついたタンチョウを見かけたら、調べに来てみてください。タンチョウの生まれ故郷や性別、家族関係などが分かると、タンチョウ観察が一層楽しくなりますよ。